

日御崎ビジターセンターから



日御崎ビジターセンター主任
出雲国ジオガイドの会副会長

渡邊一枝さん

て説明したりもしますよ(笑)と話します。

日御崎ビジターセンターでは4月から11月までの土・日・祝日に無料の定時ガイドツアーを行っており、日御崎灯台、遊歩道・柏陵園、経島、日御崎神社を案内しています。また秋には海軍遺跡のある「高尾山コース」、起伏がある海岸線を歩く「掛半島コース」という二つのトレッキングも予定しています。

「日本遺産の『日が沈む聖地出雲』としても人気の日御崎。どこに座っても日本海に沈む夕日が楽しめます。だるま太陽やグリーンフラッシュが見られることもあり、そんな瞬間に立ち合えたら超ラッキーですね」と教えてくれました。



ご存知ですか、ジオブランド商品

島根半島のクロモジを多彩に商品化。

高い機能性、リラックスできるクロモジ体験も味わってほしい



有限会社ユームディー
代表執行役 大谷修司さん



もち花茶とクロモジ茶



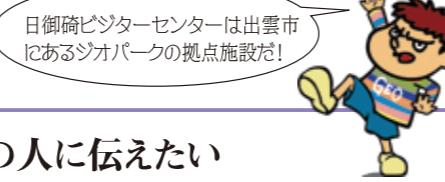
クロモジ香り水（ミスト）

編集後記

昨年度に引き続きジオパーク会報誌を発行いたします。一層内容を充実させていきたいと思いますので、ご意見やご要望がありましたらジオパーク推進協議会事務局にお寄せください。

ジオパーク推進協議会会員やジオガイドのほか、地域団体、事業者、大学の方などにこれまで取材をさせていただきました。ジオパークの活動が様々な分野の多くの皆様によって担われていることがとてもよく分かります。

熱心に活動に取り組む皆様の姿をこれからも紹介していきますのでご期待ください。



日御崎ビジターセンターは出雲市にあるジオパークの拠点施設だ!

夕日、ジオ、史跡…。日御崎の魅力を多くの人に伝えたい

日御崎は島根半島・宍道湖中海ジオパークの西端に位置する景勝地で、顕著な柱状節理や海成段丘、波食棚、ウミネコの繁殖地経島などの絶景が数多く、国指定重要文化財の出雲日御崎灯台と日御崎神社社殿もあり、屈指の人気観光地です。日御崎ビジターセンターは公営駐車場から石段を降りてすぐのところにあり、出雲観光協会案内所も兼ねています。館内にはハマボッスやタブゴメ、ハマビワなどジオパーク内の花や植物の写真展示による紹介や、出雲北山エリアで採取された玄武岩や流紋岩などに触れることができる展示があり、ジオパークの魅力を多彩に紹介しています。主任の渡邊さんは「地質や地形をただ眺めるだけでなく、それがどうやって出来たか、地球の歴史や昔の人々の暮らしに思いを馳せることができますようにご案内しています。紙芝居をその場で描いて説明したりもしますよ(笑)」と話します。



日御崎ビジターセンター。
気軽に入りやすい雰囲気です。



館内にはジオの魅力を紹介する映像やパネル、パンフレット類が多く、二人の専門員が交代で対応しています。

日御崎ビジターセンター
住所：出雲市大社町日御崎1089-37
電話：0853-54-5400
営業時間 9:00~17:00(年中無休)



島根半島・宍道湖中海 ジオパーク通信

出雲国風土記の 自然と歴史に出合う大地

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 海の楽校・召古裕土ガイド／ジオサイト紹介・小伊津海岸 | 1 |
| 令和4年度定期総会／JGN通常総会／協議会の活動・子ども用パンフレット制作 | 2 |
| 協議会の活動・イベント参加募集／萩ジオパーク紹介 | 3 |
| 日御崎ビジターセンター／ジオブランド商品・クロモジ茶 | 4 |

協議会会員の紹介 海の楽校



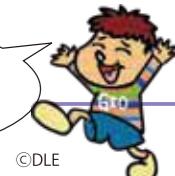
出雲国ジオガイドの会会長
環境省登録環境カウンセラー
召古裕土さん

島根町小波は微小貝を多数含む貝砂海岸が広がる穏やかな入江を有する地区で、その入江の一角に「海の楽校」があります。取材に訪れた日は梅雨の晴れ間、開け放した窓からは楽校の教室に爽やかな海風が入ってきます。「ここで子どもたちが自然の摺理を知り、生き物の多様性に触れ、人としての生き方を考えるきっかけになれば」と運営する召古さん。長年東京で環境調査・コンサルタントの会社を経営し、様々な機会を通じて自然、環境、そして人の営みと向き合ってきました。召古さんの行動哲学は「持続可能かどうか」その一点だといいます。そして早期リタイアを

機に故郷である松江に帰郷し、この小波を新しい活動のベースとしました。「海の楽校では子どもたちの感覚を研ぎ澄ますことを大切にしようと思っています。それは生きていく上で知識よりも、勘や感じる心が役に立つからです。いろいろな生き物が豊かな自然の中でそれぞれ生き続けられること、その円環の中で人も豊かに生きていくことを、楽しみながら学べる場になれば」といいます。

主宰される「海の楽校」では海岸の自然観察から始まり、ビーチコーミングで貝殻や砂を採取し、それをデジタル顕微鏡で観察したり、アクセサリーやジオラマ作りを行い、最後は海岸清掃で様々な海洋ごみや漂着物があることを知るプログラムを実施しています。「楽しい体験、楽しい記憶を通して学んでほしい。この顕微鏡で見る微小貝が美しい砂浜を作っているように、私たちも地球にとって大切な一人だよということを伝えたい」と語ってくれました。

ジオパーク推進協議会の会員
が取り組んでいる活動を紹介
していくぞ!



©DLE



海の楽校の壁一面に召古さん手づくりの図説が並びます。



小波の浜で採取された貝を、巻貝・二枚貝・磯貝・砂地に分類して紹介。見る人に小波の自然の豊かさを伝えます。



これが小波海岸。夏には多くの海水浴客でにぎわいます。



小伊津海岸の洗濯岩。潮が引くともっと広く露出します。



ダイナミックな海食岩の地形。斜めに走る地層が島根半島の隆起を物語ります。



「出雲のアマルフィ」と呼ばれる小伊津集落と港。

ジオサイト見どころ紹介 シリーズ5 小伊津海岸 (こいづかいがん)



ジオパークの見どころ、
ジオサイトを紹介するぞ!



認定ジオガイド
自然観察指導員
かね おり かつや
金折徹也さん

50m以上の切り立った海食崖に縞模様の明瞭な地層が露出し、印象的な景観を呈する小伊津海岸。波打ち際では、洗濯岩と呼ばれる砂岩泥岩互層を見ることができます。この地層の成因は、海底地すべり等によって発生する土砂の流れで、何十万年にもわたって深海平原で堆積した砂と泥の層が地層となり、それが島根半島を隆起させた地殻変動により大きく傾き、波の浸食を受けて現在の形になりました。「この洗濯岩の様子は子どもたちも驚きます」とジオガイドの金折さん。地元で生まれ育ち、以前から地区的歴史文化、自然に関心が深く、ジオガイド養成講座ではどんなことを教えるでもらえるかと講座そのものに興味を持って参加しました。「だいたい

い知っていることばかりでしたが、新しい知り合いができ、自然を愛する同志が増えたことが良かった。なにより行動範囲が広がりました」とジオガイドになった変化をよろこびます。ガイドをする際には講座で習ったことをそのまま伝えるのではなく、まつわる物語やエピソード、ユーモアを交え「今日、来て良かった」と感じてもらえるよう案内しています。「最近では若い女性や海外の方もやって来ます。佐香地区に残ったものを誇りをもって継承し、田舎の価値を発信していきたい」といいます。

島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会 令和4年度定例総会を開催

ジオパーク推進協議会令和4年度定例総会を2023(令和5)年3月28日に開催しました。SDGsの観点から会議資料はメールで事前送付の上、当日はペーパーレスで行うように今回から変更しました。

会議内容としては、令和4年度の活動報告と決算見込について報告するとともに、令和5年度の事業計画と予算について提起し、すべてご承認いただきました。

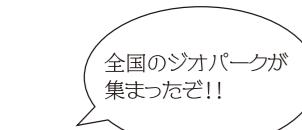
意見交換では、子どもへの課外授業の大切さと化石の保全のあり方や島根大学の学生との連携など、今後のジオパーク活動について活発にご意見をいただきました。ご意見をふまえ、地域住民の皆様とともに今後一層ジオパーク活動の充実に取り組んでまいります。



開会挨拶する上定会長（松江市長）

会員からの発言

「日本ジオパークネットワーク(JGN)第16回通常総会」 「ジオパークによる地域活性化推進議員連盟第8回総会」への参加



古川 JGN 理事長の開会挨拶



議員の皆様とJGN会員地域の集合写真

2023(令和5)年5月30日に全国のジオパークが集まり、「日本ジオパークネットワーク(JGN)第16回通常総会」が開催され、2022年度事業報告・決算、2023年度事業計画・予算について承認されました。また、白山手取川ジオパークがユネスコ世界ジオパークに新規認定されたことが報告され、全国のジオパークで喜びを分かち合いました。

午後からは、石破茂衆議院議員が会長を務め、衆参両議員88名で構成される「ジオパークによる地域活性化推進議員連盟第8回総会」が開催され、JGN理事長から石破会長にジオパークに関する要望書が渡され、関係省庁から回答を受けました。また、室戸ジオパークとMine秋吉台ジオパークから取組事例発表が行われ、国の補助金などの活用による各地域でのジオパーク活動について国会議員の皆様に紹介されました。

協議会の活動

子ども学習用パンフレット「地球と話そう!!」を制作しました。



島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会では、小学校高学年向けの小冊子「地球と話そう!! ~島根半島・宍道湖中海のひみつ」と題した学習用パンフレット(A5版16ページ)を制作し、関係する域内の小学校等に配布しました。

「ぼくらの住んでいるところはどうやってできたんだろう?」という疑問をきっかけに、ジオパークの意味や当ジオパークのエリア紹介を前置きにして、各ジオサイトの成り立ちや特徴を「ぎもん」と「こたえ」で解き明かす構成としています。美保関町・才港では「この海辺の岩から湖や川にすむワニの足跡が発見されている。海なのにどうして?」、桂島では島の全景が見える写真をもとに「溶岩の島、桂島に漂着ごみが多いのはなぜだろう?」、斐伊川河口では「宍道湖でクジラの骨や化石が発見されるなんて、クジラがいたの?」といった問い合わせを立て、自ら考えることで子どもたちに、日本列島が誕生する以前は大陸となっていたという大地の活動歴を紹介するなど、過去と今がつながっていることを学んでもらえる内容としています。そして巻末ではこうしたふるさと(ジオ)を守るために何ができるか、何が大切かを清掃活動などの様子を通して紹介しています。

パンフレットをお求めの方は、ジオパーク推進協議会事務局にお気軽にご連絡ください。

令和5年度の活動計画などについて話し合いました



参加募集中

協議会の活動

ジオガイド養成講座「はじめの一歩コース」

ジオパークについての基礎的な知識や、島根半島・宍道湖中海ジオパークの貴重な地質・地形、生態系、歴史・文化などを学べる講座を、平成28年度から開始しており、これまでの7年間で延べ218名が受講されました。

この講座を全て修了することで、上級講座「認定ガイドコース」の受講が可能となり、試験に合格した方が認定ジオガイドになります。

ジオパークの魅力を知っていただくため、今年度も参加費無料で講座を開催しますので、多くの方の参加をお待ちしています。

います。



申し込み(〆切8月3日(木))など、
くわしくはこちらをご覧ください。

ジオパーク探検隊 ～カヤック体験ツアー～

小学校5、6年生とその保護者を対象にジオパークの雄大な大地や海、自然を体験できるカヤックツアーを開催しますので、ぜひ申し込みください。

開催日:9月2日(土)・3日(日) 両日 午前／午後

会場・集合場所:ゲストハウスかたゑ庵(松江市美保関町片江396)

カヤック定員:両日 午前4人(1組2人まで×2組)／午後4人(1組2人まで×2組)

※1組4人まで参加でき、カヤックに乗らない方はバーベキューのみ参加になります。

旅行代金:3,000円税込／お一人様 ※カヤックに乗らない方も同額

主催:島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会

お申し込み、お問い合わせ:株式会社農協観光 山陰支店



桂島(松江市島根町)でのフィールドワーク

令和5年度ジオガイド養成講座「はじめの一歩コース」講座内容

日 時	会場(参加時の集合場所)	内 容	講 師
第1回 8月5日(土) 10:00~11:30	伊波野(いのわ) コミュニティセンター集会室 (出雲市斐川町富村748)	島根半島・宍道湖中海 ジオパークとは?	島根大学学術研究院 環境システム科学系 入月俊明 教授
第2回 8月5日(土) 12:30~14:00		島根半島・宍道湖中海 ジオパークの植物	島根県立三瓶自然館 サヒメル 井上雅仁 学芸員
第3回 8月27日(日) 13:00~16:00	松江ビターセンター マリンプラザしまね2F (松江市島根町加賀6120-14)	フィールドワーク(桂島)	島根大学学術研究院 環境システム科学系 大平寛人 准教授
第4回 9月9日(土) 13:00~16:00	日御崎ビターセンター (出雲市大社町日御1089-37)	フィールドワーク(日御崎)	島根大学教育学部 辻本彰 講師 島根県技術士会 大嶋辰也 氏
第5回 9月16日(土) 10:00~11:30	松江市市民活動センター ^(STICビル) 201、202号室 (松江市白潟本町43)	ジオパークの理念と 保護保全	島根大学大学院教育学研究科 教育実践開発専攻 松本一郎 教授
第6回 9月16日(土) 12:30~14:00		国引き神話と 文化サイト	島根大学総合博物館 会下和宏 副館長



カヤックに乗って雄大な自然を満喫ください。

全国のジオパークを紹介します
萩ジオパークも見どころがいっぱいだな



萩ジオパーク紹介

「維新とマグマ胎動の地・萩」 1億年前から現在まで、マグマの活動をたどる。

萩ジオパークは山口県の北東部に位置する萩市、阿武町、山口市阿東地域の2市1町で構成され、「維新とマグマ胎動の地・萩」として1億年前から現在まで、この大地を作ったマグマの活動をたどることができます。

また、大地と人のつながりを食や伝統工芸品から知ることができます。例えば、茶陶として知られる「萩焼」の原料は、約1億年前に大陸で大規模噴火を起こしたマグマが地下で冷え固まった花崗岩が風化した粘土です。

萩ジオパーク推進協議会では、来訪者が今の暮らしを見直し、未来に向けてどう行動するかを考えるきっかけとなるよう、「萩ジオアドベンチャー」や「地球目線のまち歩き」と称する体験プログラムを用意しています。見どころ見学もさることながら、体験プログラムにご参加いただけます。



大陸時代の花崗岩が風化した砂が堆積する「菊ヶ浜」から1万年前の火山「笠山」を望む。山頂には噴火口が残り、萩ジオパークの情報発信サテライト施設として展望台がある。



日本海拡大時に堆積した地層が生焼け状態の「須佐ホルンフェルス」。白黒の断崖の前で映え写真が撮れると人気。